

Q²PEC

2019年度 工学部(府)生向け海外研修

Q²PEC(キューベック)

Qshu-Queensland Program for English
Communication

オーストラリア屈指のクイーンズランド大学にある付属語学学校ICTE-UQ (Institute of Continuing & TESOL Education -The University of Queensland)において、英語研修を受けるプログラムです。英語力向上に加えて、グローバルマインドや学位留学への意識涵養を目指します。



研修内容

Week 1～5

午前:英語カススキルアップのクラス(各国からの留学生と受講)

午後:工学部学生のための特別クラス、Workshop、Field trip等

Week 6

UQ工学部研究室紹介および研究室訪問(UQ-KUプロジェクト支援)

7月初旬(2週間)UQ工学部生15人が九大を訪れます。

Q²PEC派遣前・派遣中の両方でUQ生との長期間の交流が出来ます。

実施期間:2019年8月16日(金)～9月30日(月) 6週間

実施場所:クイーンズランド大学 ICTE-UQ、ブリスベン(豪)

募集人員:20名程度

募集締切日:2019年5月30日(木)

対象者:工学部・工学府・システム情報科学府の日本人学生

滞在先:ホームステイ(大学近く的一般家庭)

費用:約50万円(昨年度実施負担額23～31万円)※

単位:4単位付与(工学部・府の参考単位)



※参加費用補助あり(条件付き):JASSO奨学金14万円+工学研究院支援金

プログラム説明会

第1回説明会 4月12日(金) 16:40～17:40

第2回説明会 4月25日(木) 16:40～17:40

第3回説明会 5月15日(水) 16:40～17:40

第1・3回説明会@West Zone 総合学習プラザ第7講義室

第2回目説明会@Center Zone 2号館 1F 2107教室

<問い合わせ先>

工学研究院附属国際教育支援センター(W4号館2階教務課内)

担当:水谷 Tel:092-802-3870

E-mail: eng-intl@iimu.kyushu-u.ac.jp

URL: <http://irose.kyushu-u.ac.jp/>



協力・支援



UQ-KU Project
九州大学
研究教育交流拠点

参加学生の声

- 本当に楽しかったし、人生においてかけがえの無い経験ができたと思う。また留学へ行きたいと思っているのがこの留学が成功であることの証拠だと思う。
- 大学も専攻も学年も違う人との会話は非常におもしろかった。またサウジアラビア人や中国人がいたが、みんな英語を話すのがうまく、いい刺激になった。
- UQ生のBuddyと日本で出会って、オーストラリアで再会した時は感慨深かった。UQ生が日本に滞在する期間が短かったので、どこにも連れて行ってあげられなかったが、日本で同じ講義を受けたり、学食を一緒に食べたりできた。私がブリスベンに行くまでも、何度か質問したり、滞在中も、切手の買い方とか教えてもらった。週末には、パティのおすすめのカフェに連れて行ってもらい、チョコレートファウンテンを食べた。ブリスベンで遊んだ時に、英語が上手になったねと言われたときは本当に嬉しかった。彼女は私の留学前を知っているし、客観的にみてくれて、成長できてよかったと思った。
- とにかく楽しかったので。一生のいい思い出となりました、これからの自身の進路を考えるうえで重要な判断材料になった。海外がすごく身近に感じるようになった。
- ホストファミリーがとても温かい家庭で、私が、ホストファミリーとの時間を大切にしたいと言うと、その後一緒にちびっ子サッカーを観たりショッピングセンターに行ったり、ホストシスターの習い事に連れて行ってもらったり、シティまで散歩したり、全てのことを誘ってくれて、もちろん強制はされずに、家族の一員として扱ってくれた。それに、コミュニケーションの時間を大切にしてくれたので、寂しさを感じることは一切なかった。
- 国外で生活するという貴重な体験に加え、そもそもこの研究が無ければQ2PECのメンバー自体も大半は出会うことが無かっただろうと思うと、非常に貴重な体験だったと思うし、もし参加したいと思っている人がいたら強く勧めたいと思っている。



- 異文化交流することができて、様々な価値観をもつ人と関わりたいと感じた。自分の目で、自分の知らない世界を知りたいと思った。英語を勉強したら、自分の世界が広がると感じたので、英語力向上のモチベーションをあげようと思った。
- 多くのことを学べたのはもちろんのこと、この研修を機に多くのつながりを持つことができたのは財産だと思う。また、研修期間に自分のことを見つめなおすことができ、これからの学生生活をよくする糧となったのは間違いない。